

必須記載事項	
登録情報記載月	2026年1月
登録番号	7-1
地域	京都府京都市
施設名	医仁会武田総合病院
活動の概要	2024年4月「臨床倫理コンサルテーション」を発足し、上級臨床倫理認定士を中心に医師をリーダーに置き多職種から構成された臨床倫理コンサルテーションチームとして活動している。臨床倫理コンサルテーションチームとしての活動基盤を強化しながら、院内外へ倫理的支援を行っている。
基礎情報 活動の特徴	<p>随時の相談を受けられるよう、相談担当者を院内に周知している。 相談受理後、緊急の場合には事例に合ったメンバーを即日招集し、倫理カンファレンスやコンサル検討会を行い依頼主にフィードバックを行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 院内に向けたCECT普及・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> チーム立ち上げコアメンバーによるポスター掲示 倫理便り 2か月に一度発行 院内に向けた教育的活動 <ul style="list-style-type: none"> 院内全職員に対して倫理に関連するe-ラーニング受講 看護部新人研修 意思決定支援、倫理とは、を開催 看護部の一般外来、ケモ外来、透析部門に対して研修開催 看護補助者への倫理研修開催 院内、院外での倫理、意思決定支援、ACPに関する学習会の開催 社会福祉士、研修医からの倫理やACPに関する学習会依頼を受け実施 チーム内での事例共有と対応力の向上への取り組み コンサル依頼の実績を数値化し成果評価を毎年院内へ報告 急性期病院におけるACPの基準手順マニュアルの整備とAIを活用した <ul style="list-style-type: none"> 体系化の実現（京都病院学会で実践報告済み） ACP実践率を倫理便り内でグラフ化し成果報告を実施 院外向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> 市民向けにACP、意思決定支援についての講座開催 近隣施設や伏見区医師会と連携しACPで紡ぐ地域連携プロジェクトを地域連携 携室と協働し推進
活動の広がり	相談依頼が病棟単位から院内横断的活動に移行し、倫理的助言を文章化することで、院内共有資源として活用できる形に発展した。ACP体制のマニュアル整備、ガイドライン作成を実施したことで、多職種と連携・協働し、意思決定支援・ACPを軸にチーム医療全体で共有している。地域連携ACPプロジェクトへの参加や近隣施設との連携を通して、急性期病院内だけではなく倫理活動へと拡張している。
協力や支援の可否	院内活動だけでなく、地域連携プロジェクトとして近隣施設との連携をはかり、地域への発展を支援いただいています。
チーム名	院内臨床倫理コンサルテーションチーム
連絡担当者名E-mail	
備考欄	

記載項目

施設認定（病院機能評価）		3rdG Ver3.0	
施設概要	病床数	床	490
	医師数	人	134
	看護師数	人	337
施設概要	医師数	常勤の専従	0人
		常勤の専任	0人
		常勤の兼任	1人
		非常勤	0人
		臨床倫理認定士 修了者	0人
		臨床倫理認定士 上級修了者	0人
	看護師数	常勤の専従	0人
		常勤の専任	0人
		常勤の兼任	6人
		非常勤	0人
		臨床倫理認定士 修了者	1人
		臨床倫理認定士 上級修了者	1人
	薬剤師数	常勤の専従	0人
		常勤の専任	0人
		常勤の兼任	0人
		非常勤	0人
		臨床倫理認定士 修了者	0人
		臨床倫理認定士 上級修了者	0人
	MSW数	常勤の専従	0人
		常勤の専任	0人
		常勤の兼任	1人
非常勤		0人	
臨床倫理認定士 修了者		0人	
臨床倫理認定士 上級修了者		0人	
事務数	常勤の専従	0人	
	常勤の専任	0人	
	常勤の兼任	0人	
	非常勤	0人	
	臨床倫理認定士 修了者	0人	
	臨床倫理認定士 上級修了者	0人	
（その他）： （Ex：リハビリ、栄養士、 心理師等）	常勤の専従	0人	
	常勤の専任	0人	
	常勤の兼任	1人	
	非常勤	0人	
	臨床倫理認定士 修了者	0人	
	臨床倫理認定士 上級修了者	0人	
（その他）： （Ex：リハビリ、栄養士、 心理師等）	常勤の専従	0人	
	常勤の専任	0人	
	常勤の兼任	0人	
	非常勤	0人	
	臨床倫理認定士 修了者	0人	
	臨床倫理認定士 上級修了者	0人	
外部コンサルタント	常勤／非常勤	0人	
	臨床倫理認定士 修了者	0人	
	臨床倫理認定士 上級修了者	0人	

チーム実績	コンサルテーション窓口	窓口部門			
	コンサルテーション件数	(開始年度～2026年1月現在)	27	件	
	倫理カンファレンス件数	(開始年度～2026年1月現在)	27	件	
	区分 (例)	小児		0	件
		成人 (高齢者含む)		25	件
		がん (AIDS /HIV含む)		2	件
		非がん		0	件
		※ 上記以外にあれば挿入してください (追行可)			件
	依頼内容 (例)	積極的治療・侵襲的検査の拒否		2	件
		生命維持の差し控え/中止		0	件
		症状コントロール (せん妄/鎮静)		0	件
		堪え難い苦痛緩和のための鎮静		0	件
		医療資源の分配		0	件
		療養場所の選択		2	件
		個人情報		0	件
		医療者への心理的支援		1	件
		意思決定支援困難事例		11	件
		医療者と家族間の治療方針によりジレンマ		1	件
		家族間のジレンマ		1	件
医師と看護師の治療方針によるジレンマ			5	件	
透析導入におけるジレンマ			3	件	
治療拒否患者の対応			1	件	
※ 上記以外にあれば挿入してください (追行可)			件		
教育活動 (例)	指導医・専門医講習会	(～2026年1月現在)	0	回	
	新規採用職員研修会	(～2026年1月現在)	3	回	
	幹部・管理者研修会	(～2026年1月現在)	0	回	
	認知症の人のガイドライン	(～2026年1月現在)	0	回	
	研修医への倫理研修	(～2026年1月現在)	1	回	
	※ 上記以外にあれば挿入してください (追行可)			回	
社会活動	地域との連携	地域へのACP研修/講師派遣等	1	回	
備考	外部見学受け入れ		可		